

中国留学生後援協会が編集される機関誌である「草心」が創刊されるに当たり、在日中国科学技術者聯盟を代表して一言お祝いの言葉を申し述べさせていただきます。

貴協会は、十数年にわたり、利害得失を超えて、感受性豊かで進取の気性に富んだ中国留学生に深くご理解を示し、さらに心豊かな交流事業を推進する団体として重要な役割をはたしておられます。

去る10月に、私は北京大学、大連理工大学からの招待講演講義を受け、学術会議の出席の機を借り、中国に出張しました。そのとき、貴協会にお世話になった数名の留日学者と話し合いました。彼らはすでに中国の大学、研究機関などで重要なポストを担当しており、中日友好交流事業に貢献しております。彼らはいまでも貴協会に厚く感謝しております。また、私共聯盟も創立当初から今日まで変わらぬご支援を頂いております。ここに五十嵐勝会長をはじめ貴協会の皆様のご尽力に対しまして深く敬意を表するものであります。

21世紀はアジア太平洋の時代であるとよく言われております。特に、中国と日本は、“一衣帯水”の隣国であり、生存環境を共にする運命共同体の関係にあります。そのため、日中両国はさらに幅広く交流し深く理解し合わなければなりません。貴協会は中国留学生後援、日中友好交流における、正にそのような役割を担われた団体でありまして、社会の期待は益々高まっていますと言えます。

この観点から、貴協会の機関誌「草心」が、中国留学生、日本に残って研究を続



けている留学生OB,OG、中国に帰国した留日学者、そして日本の皆様との友好交流の掛け橋となり、さらに素晴らしい技術を生み出す土壌を作られることを心からお祈りいたします。

1993年12月吉日
在日中国科学技術者聯盟
会長 任 福継